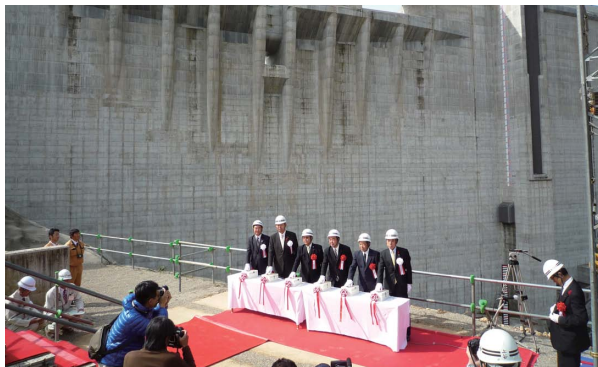


丹 生川ダムの試験湛水始まる 昭和49年の予備調査から37年を経て



岐阜県が丹生川町折敷地の荒城川に治水などの目的で建設を進めてきた丹生川ダムで、10月21日に湛水式があり試験湛水が始まりました。

来年3月下旬には満水となる予定で、5月に試験湛水を終えて完成します。湛水式には、ダム湖に沈む旧五味原地区の住民も、寂しさを感じながらもダムの重要性を思いながら出席していました。

電 気自動車を公用車に導入 地球温暖化対策の取組み



環境への負荷を軽減することを目的に、市は11月1日、公用車に電気自動車を導入しました。1回のフル充電で約180km走行できます。

市では今後、市内2カ所の公共施設に市民が自由に利用できる急速充電器(電気スタンド)を設置する予定で、市全体で温室効果ガス抑制の取組みを積極的に進めていきます。

国 体までカウントダウン 市役所玄関前にカウントダウンボード設置



「ぎふ清流国体・冬季スキー競技会」まであと100日となった11月6日に、カウントダウンイベントが市役所で行われ、市民や地元の強化指定選手など、約250人が参加しました。

スキー競技会は、来年2月14日から17日に、ほのおき平スキー場と鈴蘭高原を会場に、ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、クロスカン トリー、コンパインドの4種目が実施されます。

町 家座談会で飛騨高山を考える 観光庁長官を囲んで観光を語る



溝畑 宏観光庁長官を囲んで、国内・海外の飛騨高山ファンをいかに増やすかについて語り合う座談会が、11月2日に宗猷寺で開催され、市民など約100人が参加しました。

長官の生い立ちも含めた観光への熱い思いがこもった講演のあと、市長とのトップ対談や一般参加者も含めた座談会が行われ、終了時刻が大幅に遅れるほどの盛り上がりでした。



飛騨牛串焼き

飛騨牛と飛騨の魅力再発見 飛騨牛まつりin高山

飛騨地域の財産である“飛騨牛”。その魅力を再発見するため、各種飛騨牛料理等のブース、飛騨牛の丸焼き(モモ肉のロースト)、飛騨牛ラッピングバスのお披露目、楽しいステージイベントなどが2日間にわたって行われます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

日時 11月19日(土)午前10時～午後4時

11月20日(日)午前10時～午後3時

場所 高山駅西駐車場(昭和町1)

問合先 飛騨牛銘柄推進協議会
☎0575-23-6177